

平成 28 年度事務事業評価表(一般事業・継続)

No. 338

事務事業名	農地中間管理事業
-------	----------

作成日	平成 28 年 9 月 30 日		
部局名	農林水産部		
課名	農業水産課		
課長名	下玉利 輝幸	内線	266
担当者名	小畑 修一	内線	253

基本目標	040102	活力に満ちた産業のまち
政策		魅力ある農林水産業の振興
施策		農業の担い手の育成
関連施策		

会計	一般会計		
款	6	農林水産業費	
項	1	農業費	
目	3	農業振興費	
事業コード	091200		

事業類型	4	ソフト事業(任意)
個別計画		
重点事業		

【PLAN(計画)】

対象(者) 誰(何)に対して事業を行うか	農業振興地域の農地を、原則10年以上貸借契約をする農業者。		
意図 対象をどのような状態にしたいか	農業経営をリタイアする者及び農地を貸し付けたい者の農地を農地中間管理機構を受け皿として規模拡大等を行なおうとする者に貸付け、農地の有効活用を図るとともに地域農業の担い手へ農地を集積する。		
事業概要 意図を達成するために実施することは何か	<ul style="list-style-type: none"> ・人・農地プランにおける農地中間管理機構事業の活用推進 ・農地中間管理機構が借入れる予定地の現地確認及び借受希望者の意向把握 ・地権者等との交渉、契約事務 ・農地利用配分計画の原案作成 		
事業期間	平成 26 年度 ~ 平成 年度	実施方法	補助
根拠法令、要綱等	農地中間管理事業の推進に関する法律		
国・県補助事業に係る本市単独施策	無		

【DO(実施)】

指標名(上段:名称/下段:算定式等)		単位	25年度	26年度	27年度	28年度	備考
活動指標	① 農地中間管理機構が借り受けた面積	計画値		39	39	22	
		実績値	ha	5	22		
	集積目標面積・・・39ha/年間	達成度	%		12.8%	56.9%	
②		計画値					
		実績値					
	達成度	%					
成果指標	① 農地中間管理機構が貸付可能となった面積	計画値		0	39	22	
		実績値	ha	5	22		
	達成度	%			56.9%		
② 農地中間管理機構から農地の借入れを行った農業者		計画値		10	20	30	
		実績値	人	8	31		
	達成度	%		80.0%	155.0%		

年 度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体計画
① 事業費(千円)	0	3,527	14,204	13,837	10,855	10,855	10,855	62,585
国庫支出金								
県支出金		750	12,021	10,250	6,752	6,752	6,752	43,277
地方債								
その他		2,777	2,183	3,587	4,103	4,103	4,103	19,308
一般財源								
② 人件費(千円)	0	4,054	2,469	1,494	事業内容	事業内容	事業内容	備考
職員人数(人)		0.51	0.35	0.20	農地中間管理機構の業務を受託し、事業を推進する。	農地中間管理機構の業務を受託し、事業を推進する。	農地中間管理機構の業務を受託し、事業を推進する。	
時間外勤務(時間)		100	0	20				
嘱託等人数(人)								
フルコスト(①+②千円)	0	7,581	16,673	15,331				

※財源内訳中の「その他」には、保険料・寄付金・基金・利用料等の収入を記入しています。

【CHECK(評価)】

事業の進捗状況 昨年度の評価から、どのような取組をしましたか(昨年度の【ACTION】の改善・改革の進捗等)	(H27) 借受者 31戸 17.1ha 貸出者 31戸 17.1ha
事業が抱える問題・課題等	農地の有効利用の継続や農業経営の効率化、耕作放棄地の防止・解消等を目的として、農地中間管理事業の活用により、担い手への農地集積・集約化を進めているところであるが、借受希望者と貸付農地との効率的なマッチングが課題となっている。

妥当性	【必要性】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	今後、さらに担い手の高齢化による離農や、後継者不在により担い手が年々減少することが見込まれるため、認定農業者及び人・農地プランの中心となる経営体に位置付けられた農業者に農地を借受けてもらい、荒廃農地発生防止を図るためには必要である。						
有効性	【市の関与】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	荒廃農地の発生防止に繋がり、農地の持つ多面的機能の維持と農産物の安定的生産を確保するため市の関与は必要である。						
効率性	【事業成果】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	農地中間管理機構が借り受けた面積、貸付可能となった面積は、実績値が計画値を下回ったが、農地中間管理機構から農地の借入れを行った農業者の数は、計画値を上回った。						
効率性	【施策貢献度】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	本事業を実施することで、荒廃農地を未然に防ぎ、地域農業の担い手を確保することができる。						
効率性	【コスト】	削減の余地なし		削減の余地あり		該当なし	
	国及び農地中間管理機構から業務受託費で賄われていることから、削減には該当しない。						
効率性	【負担割合】	見直しの余地なし		見直しの余地あり		該当なし	
	農地集積・集約化対策事業実施要綱に基づき実施しており、該当なし。						

※事業類型が1～3に該当する事業については妥当性及び有効性の評価は記入しておりません。

【ACTION(改善・改革)】

今後の方向性	現状維持	
--------	------	--

内容 今後の方向性のもとで、どのような取組をするか(課題や問題点等に対する取組など)	借受希望者と貸付農地のマッチングには、ニーズ応じた農用地の提供に難しい面があるものの、継続して事業を実施していく。
効果 事業の改善・改革によって期待される効果は何か	

1次評価	今後の方向性	担当者意見のとおり		2次評価	対象外	今後の方向性
	終期設定				終期設定	
意見等			内容			

※1次評価は事業担当課長等、2次評価は2次評価委員会によって行われます。